

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 2 月 27 日作成 第 3.0 版

研究課題名	人工心肺後の橈骨動脈-大腿動脈圧較差発生リスク因子の検討
研究の対象	2012 年 4 月～2026 年 3 月の間に、人工心肺を使用した心臓血管外科の手術を受けた患者さんのうち、手術当時の年齢が 18 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	心臓手術の際には、血圧を持続的に測定するために、手首にある橈骨動脈にカテーテルを入れています。人工心肺を用いた後に、しばしばこの橈骨動脈の血圧は非常に低くなり、実際の脳などの重要な臓器に流れる動脈の血圧よりも低くなります。なぜこのような橈骨動脈の血圧の低下が起こっているかは、まだはっきりと分かっていません。今回、当院で心臓血管外科手術を受けた患者さんのデータを用いて、どのような人に、このような橈骨動脈の血圧の低下が起こりやすいのかを解析しようと考えています。この研究によって、橈骨動脈の血圧の低下がなぜ起こるか、理由を解き明かす一助になる可能性があります。
研究の方法	診療録から情報を収集して、どのような患者さんに橈骨動脈の血圧の低下が起こりやすいかについて検討します。 通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の項目	【試料】試料（検体）はもちいません。 【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別、既往歴、身長、体重等 ・手術情報：術式、出血量、人工心肺使用時間、大動脈クランプ時間、心拍出量（心臓から出される血液量）、混合静脈血酸素飽和度、入院日数、術後人工呼吸器管理期間等 ・血液検査の結果：術後血清クレアチニン値、術後血清乳酸値 等
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管 理	検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう対応表とよばれる個人と識別コードを対応させた表を作成しますが、その表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の 管理について 責任を有する	研究責任者：横浜市立大学附属病院麻酔科 東條健太郎

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

者	
利益相反	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。</p> <p>本研究は、大学の基礎研究費を用いて行います。本研究について、開示すべき利益相反はありません。</p>
研究組織 （利用する者の範囲）	<p>【研究機関と研究責任者】</p> <p>横浜市立大学附属病院 麻酔科 （研究責任者）東條健太郎</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 麻酔科 （研究責任者）東條健太郎</p> <p>電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 787 - 2916</p>	